



横浜市立富岡東中学校

第8号

学校だより

令和 3年 11月 25日
横浜市立富岡東中学校

行事を通して得られるもの

副校長 塩澤恵子



冷たく乾いた空気に季節の移ろいを感じ、その風を切って走ると意識がはっきりとしてきます。季節は秋が深まり、少しずつ冬支度が始まろうとしています。冷たい風にあたると、高村光太郎の詩「冬が来た」の「きっぱりと冬が来た」という言葉が浮かんできます。

夏にはマスクをしていると暑く蒸れて不快でしたが、今は少し保温になって防寒に役立っています。逆に水が冷たくて手洗いがおっくうになってしまうことがあります。それでもまだまだ感染症対策を怠らず、慎重に生活することが求められます。

そんな状況の中ですが、3年生は修学旅行に、2年生は自然教室に無事行ってくることができました。2度も延期し、本当にできるのだろうかと随分心配しましたが、「念ずれば欲する」の通り、教職員や子どもたちの強い思いが叶い、無事終えることができてほっとしています。それと同時に、行事の重要性にあらためて気づかされました。

2年生の自然教室に同行させていただきましたが、2泊3日の道志村では心が洗われるような日々を送ることができました。

まず何より3日間晴天に恵まれ、この時期ならではの美しい紅葉と富士山の景色を満喫しました。何度も子どもたちの「きれいだね。」「モミジが赤いね。いいね。」「富士山がすごい。きれい。」「杉の木はまっすぐだね。」「空気がおいしい。」という声を聞きました。自然の美しさを愛で、雄大な自然の中でハイキングや林業体験、キャンプファイヤーなどを体験することは、どれだけ子どもたちの心を前向きにさせたいかと思いました。

分宿での生活は、宿のお父さんやお母さんの温かい心に触れ、子どもたちは協力し合って互いを思い合い、助け合って、感謝しながら生活していました。帰り際に宿の方々が、「本当にいい子たちでこちらも楽しかったです。率先して手伝いもしてくれてうれしかったです。」と、子どもたちの行動をほめてくださいました。

また、何より全員で集ったキャンプファイヤーでは、実行委員主導で大いに盛り上がりました。火の神の登場によって檜に点火され、炎を囲んでのレクで心が一つになったような気がしました。これは実行委員さんの頑張りとお2年生全員の協力があったからです。

学校生活の中でも特に学校行事は、協調性や人間関係の調整力など「人と関わる力」、自己肯定感や自立心など「自分を強くする力」といった能力を培う仕掛けがあります。主体的に動く場面が多く、強い意欲が生まれます。教科学習ではどうしても受け身の学びが多くなりますので、行事などを通してこれらの力を伸ばしていくことが大切だと考えます。何をやるにも自分で選択し、納得して自分の道を歩んでいくことが大事ですが、主体性を育むことでしっかりと考えて行動ができていくと思います。

3年生は進路決定の時期になってきましたが、自分を理解し自分で考えて、自分の道を決めていけるようにしてほしいと思います。今までの学びを生かして遅く進んでいってください。

修学旅行の感想

修学旅行実行委員長 渡邊 裕樹

まるで延期の事など忘れてしまう様な、そんな充実した3日間でした。心配されていた天候にも恵まれ、程良い気温で観光できてよかったです。僕自身はむしろ「延期」のおかげで当日、不自由なく行動できたと思っています。暑い時期だと、熱中症等の心配もあったでしょうし、長い期間があったからこそ、十分な準備ができて当日スムーズに行動することができました。奈良や京都を観光してみてもわかった事がありました。まず奈良は京都に比べると規模が小さいものの、スポットを巡る道中にも「趣」ある造りが施されており、目を奪われました。班長でありながらつい、次の場所へ行きたい気持ちが強くなり、歩くペースが速くなってしまいました。京都には「パワースポット」や「お守り」といった、「御利益」を得られる場所が多くあり、他にも先人の知恵や工夫、思いや歴史など「変わらないもの」の美しさに触れることもできました。こういった経験・体験ができたのも、ガイドさんやバス・タクシーの運転手さんなど、旅行に携わっていただいた方々は勿論、コロナ禍でリスクがありながらも責任をもって、僕達を修学旅行に連れて行ってくださった先生方のおかげです。心から感謝しています。



自然教室を終えて

自然教室実行委員長 橋本 実空

私たちは道志村に行き、沢山の体験を行いました。

林業体験では、木を切り倒すところまでやらせていただき、その木がどうなるのか、切ることによって森にどんな影響があるのか教えてもらい、貴重な経験になりました。

また、宿では普段話さない人とも話したり、カードゲームをしたりして仲が深まったと思います。食事の用意なども全員で行い、協調性も高まりました。

他にも、ほうとう作りやハイキング、キャンプファイヤーなどを通して道志村の良さや自然を見て、楽しく学ぶことができました。

今回の自然教室で学んだことを無駄にせず、これからの生活の中で役立てていきたいと思えます。



全国学状分析

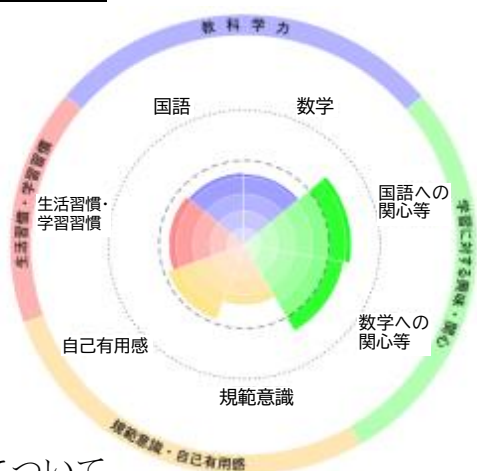
今年度の全国学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

○教科について

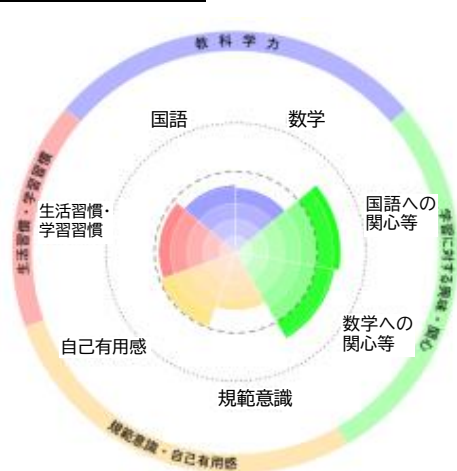
今年度は国語と数学の2教科の調査でした。教科学力については、全国・神奈川県ともに平均（真ん中の点線）と比べて低いです。その反面、国語・数学への関心は、ともに全国・神奈川県平均より高い数値を示しています。学力が低い数値を示しているのは、やりたくない、取り組みたくないと思っている子どもが多いのではないことがわかります。

どの授業においても、まじめに授業を受けている姿が見られます。今回の調査から、本校の子どもたちには、学習内容の積み重ねが必要であると感じました。ただ覚えたりするだけの授業ではなく、学校では毎時間の目標を明確にしていくことが、そして、授業が終わったら、家庭学習でしっかり復習して内容を定着することが必要だと感じます。

全国との比較

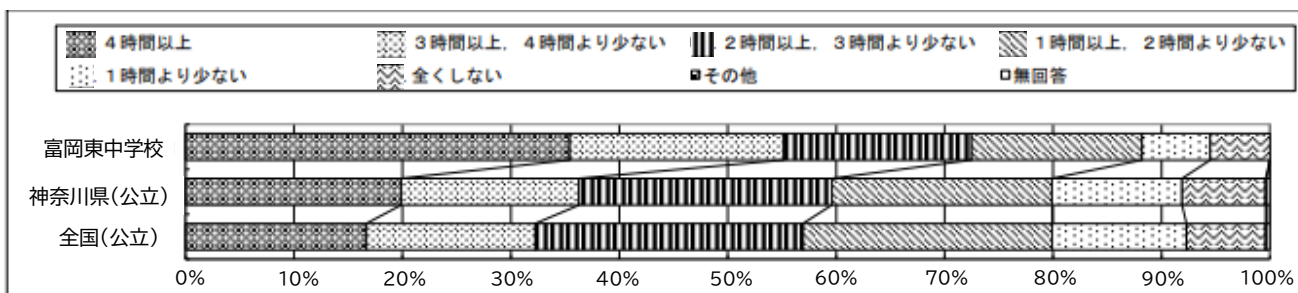


神奈川県との比較

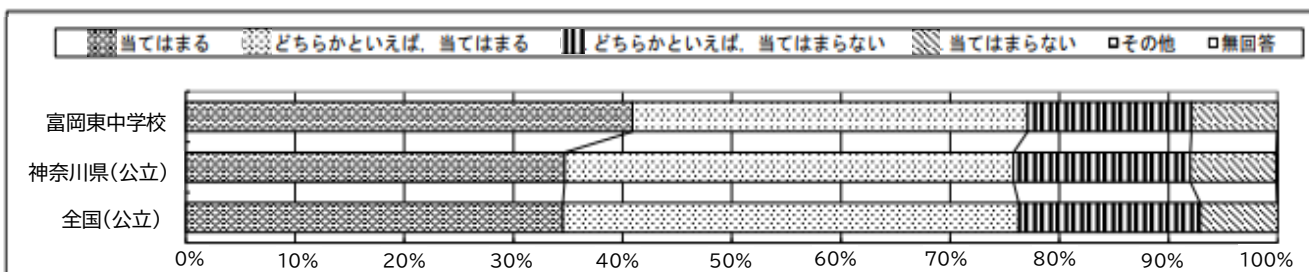


○生活について

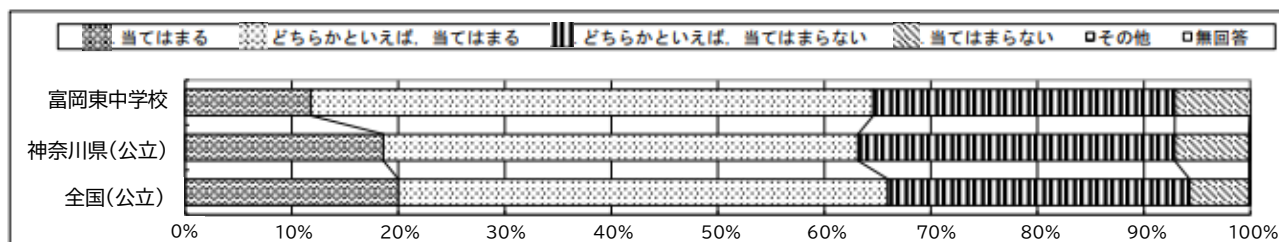
今年度の3年生の特色をあらわした質問についてです。



「普段、1日当たりどれくらいの時間ゲームをしますか」の質問に、7割を超える子どもが「2時間以上」と答えています。これは、全国・神奈川県と比べても10ポイント以上高い数値です。教科学力で分析した通り、家庭学習の習慣が身につけておらず、ゲームをしている子どもたちが多いということがわかります。短い時間でも、家庭学習をする時間に費やすことができれば、基礎学力定着につながっていくと思われます。



「自分にはよいところがあるか」という質問に対して、「当てはまる」と答えた子どもが、全国・神奈川県より5ポイントほど高い結果が出ました。一人ひとりが、自分の長所を理解し、部活動や委員会活動等で力を発揮できていることにつながっています。



「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦できていますか」という質問に対しては、「当てはまる」と答えた子どもが、全国・神奈川県より10ポイント近く低い結果でした。学校生活を見ている、自分の係活動や依頼された事柄等、決まっていることはきちんと取り組むことができますが、周りに気を配り、自分から動く姿がなかなか見られない現状があります。自己有用感を高め、積極性が身に付くようにしていく必要があると考えます。

12月の主な予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	水	定例会 SC来校	16	木	
2	木		17	金	総務会
3	金	PTA実行委員会	18	土	①～⑤授業参観
4	土		19	日	
5	日		20	月	
6	月	保護者面談(一年のみ) 昼食なし	21	火	
7	火	保護者面談1	22	水	
8	水	保護者面談2 SC来校	23	木	
9	木	保護者面談3	24	金	終業式・任命式 再登校15:00 昼食なし
10	金	保護者面談4	25	土	
11	土		26	日	冬季休業12/26～1/6
12	日		27	月	学校閉庁日
13	月		28	火	学校閉庁日
14	火	生徒会選挙リハーサル	29	水	
15	水	生徒会選挙 SC来校	30	木	
			31	金	



12月18日(土)は授業参観です。密を避けるために1校時から5校時まで設定しておりますので、ご都合の良い時間帯でぜひ参観ください。なお、土曜日ですので給食の提供はありません。お弁当を持参させてください。代休は1月7日(金)です。